

**雄勝復興まちづくりにおける集会所の位置づけと建築計画**  
**一石巻市雄勝半島における地域の固有性・多様性に基づく集落再生に関する研究 その16一**  
**Positioning and architectural planning of community facilities on Ogatsu community reconstruction project**  
**Research on the colony reproduction based on the indignity and diversity of the area in the Ishinomaki Ogatsu peninsula #16**

岩井都夢<sup>1</sup>, 櫻井雄輝<sup>1</sup>, 藤池広明<sup>1</sup>, ○趙在赫<sup>1</sup>, 外山浩太<sup>1</sup>, 劉樹昆<sup>1</sup>, 落合正行<sup>2</sup>, 山中新太郎<sup>3</sup>  
 Tomu Iwai<sup>1</sup>, Yuki Sakurai<sup>1</sup>, Hiroaki Fuziike<sup>1,\*</sup>, Jo Jaehyuk<sup>1</sup>, Hiroto Sotoyama<sup>1</sup>, Ryu Jukon<sup>1</sup>, Masayuki Ochiai<sup>2</sup>, Shintaro Yamanaka<sup>3</sup>

1. 序論

1-1. 研究背景及び目的

東日本大震災では、住宅の被害だけではなく集会所も被害を受けており、数が減少している。集会所とは、地域社会の交流を生み出す地域住民の集会の場として配置された。

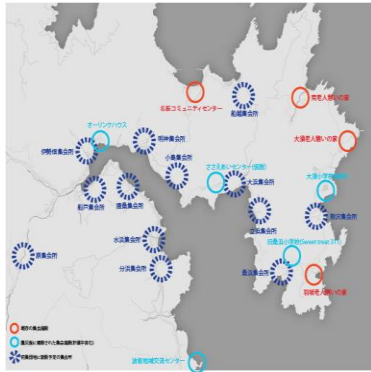


Fig1. 雄勝地区全体集会所<sup>※1</sup>

現在では地域復興活動を行う場となっており、震災時にも防災拠点としての役割を担った。震災後の雄勝半島では、集会所の現象に対し、新たに集会所を建設する計画(Fig1)がある。本研究では、現存する集会所を調査し、利用実態・建築形態について明らかにし、今後の集会所の建築計画に役立つ設計と条件を把握することを目的とする。

1-2. 雄勝半島における津波による集会施設の被害

雄勝半島では、東日本大震災によって、集会所が23カ所から4カ所に減少した。そこで、震災後も現存する名振・大須・羽坂・荒の4ヶ所について調査を行う。

Tab1. 雄勝半島地区における既存集会所<sup>※2</sup>

地区名	名称	延床面積 (㎡)	建築年	建築主体	建築所有者	土地所有者
名振	名振老人憩の家	213.65	昭和56年11月	雄勝町	石巻市	名振新学生会
	名振地区コミュニティセンター	371.40	平成12年3月	雄勝町	石巻市	石巻市
船越	船越老人憩の家	182.18	昭和51年3月	雄勝町	船越区	船越区
	船越漁村センター	606.17	昭和58年3月	東部漁協	東部漁協	石巻市
荒	荒老人憩の家	172.23	昭和52年12月	雄勝町	石巻市	船越区
大須	大須老人憩の家	198.74	昭和51年12月	雄勝町	石巻市	大須地区会
	大須漁村センター	443.86	昭和57年3月	東部漁協	東部漁協	石巻市
熊沢	熊沢生活センター	139.67	昭和51年3月	熊沢	熊沢	石巻市
羽坂	羽坂老人憩の家	142.39	昭和54年3月	雄勝町	石巻市	石巻市
桑浜	桑浜老人憩の家	203.71	昭和56年12月	雄勝町	石巻市	石巻市
立浜	立浜老人憩の家	231.86	昭和58年2月	雄勝町	石巻市	立浜協和会
大浜	大浜地区コミュニティセンター	173.90	平成16年3月	雄勝町	石巻市	大浜親和会
小島	小島会館	116.00	昭和40年3月	小島	小島	小島共進会
明神	明神憩の家	231.87	昭和59年1月	雄勝町	石巻市	明神共和会
伊勢畑	伊勢畑地区コミュニティセンター	303.08	昭和59年12月	雄勝町	石巻市	伊勢畑新開会
下雄勝	下雄勝会館	259.20	昭和45年4月	下雄勝	下雄勝	下雄勝共和会
上雄勝	上雄勝町内会館	257.78	昭和55年11月	上雄勝	上雄勝	上雄勝町内会
味増作	味増作親交会館	245.94	昭和52年11月	味増作	味増作	味増作新開会
船戸	船戸部落会館	90.91	昭和52年8月	船戸	船戸	船戸友好会
唐桑	唐桑会館	58.58	昭和38年3月	唐桑	唐桑	杉山勝治 外1
水浜	水浜漁村センター	467.41	昭和52年2月	雄勝町	石巻市	雄勝湾漁協
分浜	分け浜老人憩の家	167.80	昭和54年10月	雄勝町	石巻市	鈴木喜助 外8
波板	波板老人憩の家	134.68	昭和55年1月	雄勝町	石巻市	波板地区会

2. 既存集会所調査

2-1. 調査結果

ヒアリング調査と利用記録簿調査及び実測調査により得られたデータを Tab2 にまとめる。ヒアリング調査と利用記録簿調査から、利用頻度や使い方に差はあるものの、共通して外部団体の活動やそれに伴う宿泊に対して協力的であることが分かった。実測調査からは、荒・羽坂・大須において以下の①～③もデザインコードがあることが考えられる。

- ① 玄関と大広間が直結している
- ② キッチン・大広間、ステージの直線的な関係
- ③ ②を挟む廊下があり、廊下に付属する形式でトイレ、倉庫がある

Tab2. 既存集会所一覧表

	荒	羽坂	大須	名振
集会所写真				
平面図				
利用記録 (震災前)	記録なし	H21年～H23年3月11日 (85回使用)	記録なし	H21年～H23年3月11日 (108回使用)
利用記録 (震災後)	記録なし	H23年3月11日～現在 (3回使用)	H23年3月11日～現在 (92回使用)	H23年3月11日～現在 (404回使用)
特徴	物置部屋が多い	キッチンが大きく、広場で盆踊りを催す	大広間が大きく、震災による被災が軽度	体育館のような形、大広間にも入口がある

1: 日大理工・院(前)・建築 2: 日大理工・教員・まちづくり 3: 日大理工・教員・建築

①～③はFig2 のような、雄勝地区の伝統的な住宅の形式にも共通していることが考えられる。

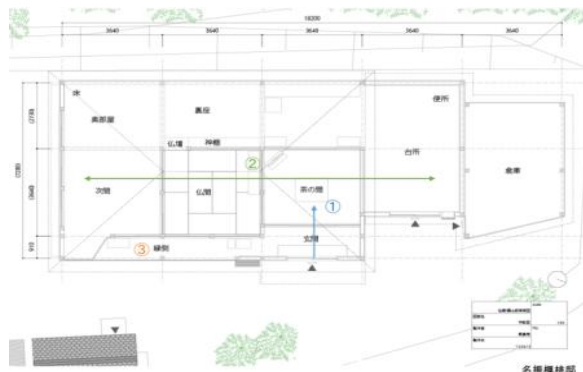


Fig.2. 雄勝地区における伝統的な住宅

2-2. 小結

- 1) 外部団体の受け入れには協力的である
  - 2) 各集会所には特徴的な広さを持った部屋がある
  - 3) 集会所の平面が伝統的な雄勝の住宅の延長にある
  - 4) 大須の震災後の利用率増加は参考となる
3. 各浜集会所予定地の設計と条件

3-1. 利用者条件

集会所を計画するにあたり、Tab3 から集会所の位置と、残存人数及び防集団地人数によって利用者の属性が違うということを意識する必要があると考えられる。

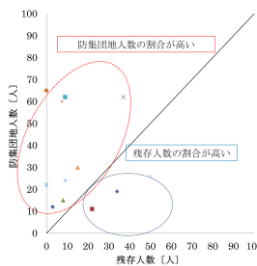


Fig.3. 防集団地人数と残存人数の相関性

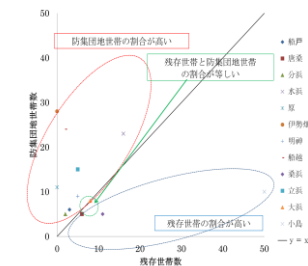


Fig.4. 防集団地世帯数と残存世帯数の相関性

例えば桑浜の場合、高台移転地に 5 世帯、19 人が住む宅地が造成されている中で、周辺には既存集落の 11 世帯、34 人が残っている。そのため、この集会所計画には、防集団地周辺の残存住民の使い方及び利用頻度を設定するのがより重要な条件になると言える。

3-2. 敷地条件

人口に対して、集会所予定地の面積には大きな違いがある。敷地形態の違いにも着目する必要がある。また、立地的にも海への眺望ができるかどうかは集会所の形態に影響を与えると考えられる。



項目	浜	桑浜
造成工事完了時期		2013年 (H25)
住宅建設開始		2014年 (H26)
利用者条件	人口 (既存/防災団地)	53(34/19)
	世帯 (既存/防災団地)	16(11/5)
	自力再建/公営住宅	3/2
	敷地面積[m <sup>2</sup> ]	221.30
立地条件	敷地海抜高度[m]	58.4
	海への眺望	×
	団地内の公園や広場	有(公)
	団地内の防火水槽	有
	幹線道路からの距離	約40m離れ
	付近漁業エリアの有無	有 (300m以上離れ)

Fig.5. 桑浜土地利用計画図<sup>\*3</sup>と敷地条件一覧

桑浜の場合、集会所の敷地が団地の奥側にあるため、海への眺望ができない。そして、南の方には公営住宅地が接し、西と北の方には斜面がある状態で、東の方だけが開放されている敷地である。

4. 今後の展望

実測調査から得られた室の構成は、雄勝において残すべき手法だと考える。今後は、集会所を主に利用する可能性が高い住民に、要望を細かくヒアリングし、集会所の建築計画に活かす必要がある。また、浜同士でプログラムを共有することができるような計画も検討していきながら今後の計画・設計に活かしていきたい。

本研究は、日本大学理工学部プロジェクト「東日本大震災復興を契機とした地域の固有性・多様性に応える地域再生と復興住宅等の建築設計に関する研究～宮城県石巻市雄勝町を対象として～」を基に行っている。

参考文献

- ※1 雄勝スタジオ作成
- ※2 雄勝総合支所作成
- ※3 雄勝(桑浜)地区防災集団移転宅地造成工事土地利用計画図引用
- ※4 雄勝総合支所データ参照(平成 26 年 3 月 25 日時点)
- [1] 浅野 平八 (1995) 「地域集会所施設の計画と設計」理工学社

Tab3. 各浜設計と条件一覧表<sup>\*4</sup>

項目	地区名	船戸	唐桑	分浜	水浜		原	伊勢畑	明神	船越	熊沢	桑浜	立浜	大浜	小島	荒	大須	羽坂	波板
					北	南													
残存人口[人]		3	22	8	37		-	-	9	7	96	34	9	15	50	72	407	86	12
残存世帯数[世帯]		3	6	2	16		-	-	5	2	39	11	5	8	50	27	177	37	5
防集団地内人口[人]		12	11	15	62		22	65	24	60	8	19	62	30	26	0	11	0	16
防集団地内自力再建世帯数[世帯]		4	4	5	6	2	0	16	6	8	0	3	12	6	5	0	2	0	1
防集団地内災害公営住宅世帯数[世帯]		2	1	0	4	11	11	12	3	16	4	2	3	2	5	0	1	0	5
防集団地内合計世帯数[世帯]		6	5	5	10	13	11	28	9	24	4	5	15	8	10	0	3	0	6
集会所予定敷地面積[m <sup>2</sup> ]		412.10	355.24	483.99	644.34		1012.50	-	578.18	547.81	-	221.30	235.95	696.04	201.47	-	-	-	-
海への眺望		○	×	×	○	×	○	○	○	×	×	×	×	○	×	-	-	-	-